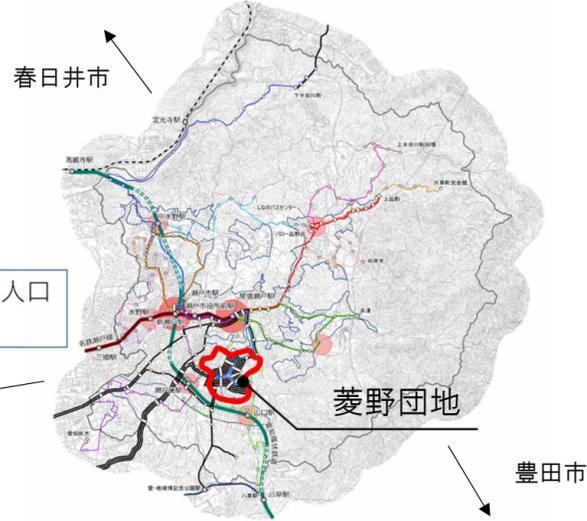


# 瀬戸市菱野団地

- ・黒川紀章氏設計
- ・愛知県住宅供給公社整備
- ・昭和42年～造成開始
- ・昭和45年～入居開始

開発当時の計画規模

計画面積	173.5ha
住宅建設戸数	7,032戸
計画人口	30,000人



昭和50年の市の総人口  
112,569人

## 子どもを守ることが十分に考慮した明るく楽しい総合的なニュータウンとして計画



- 3つのブロックで形成 (原山台、萩山台、八幡台)
- ブロックで囲まれたエリアをセンター地区とし、商業施設や診療所等を集積
- 道路の交差は全てT差路(信号がない)
- 主幹線と住区内幹線の間に修景緑地
- 3小学校と1中学校を主幹線を超えない住区周辺の緑地ゾーンに配置
- 各住区とセンター地区は歩道橋で結節

## みんなでつくる 住みよいまち 菱野団地① 菱野団地コミュニティ交通運行協議会

## 開発から50年近く経過して進む高齢化



## 住民バス導入のきっかけ

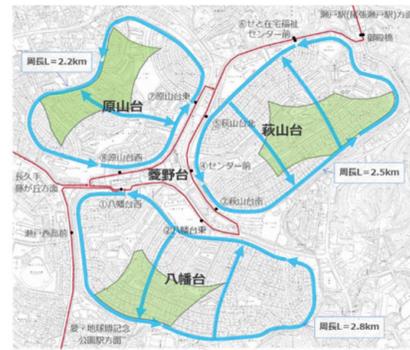
- 菱野団地の現状(平成29年当時)
  - ・人口減少と高齢化の急速な進行 → バスの運行本数減少
  - ・起伏が多い地形 → 坂道を歩いてバス停まで行くことが困難
  - ・団地内に公共交通空白地域(鉄道駅から半径800m、バス停から半径300mの範囲外の地域)の存在

十分な輸送サービスが確保されない地域



## 住民バス(社会実験)の概要

- 運行内容  
運行範囲は菱野団地内とし、定時定路線にて運行  
外周道路は、手を挙げて知らせる自由乗降が可能  
名鉄バスの停留所やセンター地区への行き来を想定



ブロック単位ではなく、  
団地全体で課題解決に挑む!

- 菱野団地 住民バスルート
- 名鉄バスルート
- 名鉄バス バス停留所
- 交通空白地域 ※

## 住民バス(社会実験)結果

- 運行日数  
123日間
- 延べ利用者数  
4,966人(1日当たり40.4人)
- 利用目的(上位5位まで)
  - 1位 買い物(50.7%)
  - 2位 試しに乗ってみた(42.3%)
  - 3位 家に帰る(31.0%)
  - 4位 公的・金融機関への用事(18.3%)
  - 5位 通院・デイケア(16.9%)



低速電動バス(eCOM-8)  
・最高速度 19 km/h  
・燃料: 電気 10人乗り

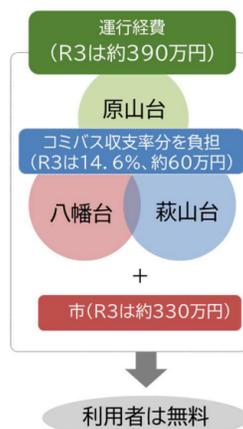


普通乗用車(ワゴンタイプ)  
・19 km/hで運行  
・燃料: ガソリン 10人乗り

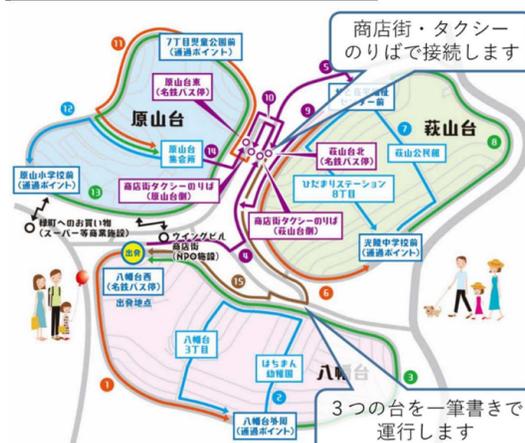
社会実験の結果を踏まえ、持続可能な運行ができるように  
地域と行政で検討(菱野団地コミュニティ交通運行協議会)

## 住民バスの運行再開(平成30年～)

住民バス	
運行日	月～金曜日 ※土・日曜・祝日運休
便数	1日当たり10便 (つながり号とあおぞら号の2台で運行)
利用料金	無料 (どなたでもご利用できます)
乗降者数	コロナ禍でも R3は20,991人 (1便当たりR3は8.6人)
運行主体	菱野団地コミュニティ交通運行協議会 (自治会、地域力向上協議会、交通事業者、瀬戸市で構成)
車両	普通乗用車 (乗車定員10人)2台 ※市所有車両を貸与
運転手	現在は5名でシフト制で運転 2名の事務員



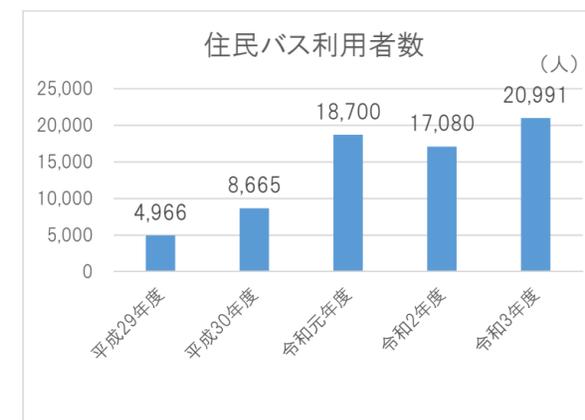
## 住民バスの運行ルート



ラッピングバスのデザインは  
団地の子供たちの絵を採用  
つながり号(上)とあおぞら号(下)



## 住民バスの利用者数推移



1便当たりの利用者数  
8.64人(定員9人)



運転手はボランティア

住民バスは今日も菱野団地の住民の生活を支えている